

2016年12月 第2回

信州・働く者のセミナー

にご参加を！

《テーマ》

過労死はなぜ絶えないか？ —「働き方改革」の欺瞞を暴く

- 日時 12月4日(日) 午後2時～4時30分
- 場所 もんぜんプラザ(長野市) 301会議室
- 主催 信州・働く者のセミナー実行委員会
(連絡先Eメール: mcg-nagn@beige.plala.or.jp)
- 参加費 200円(会場費・資料代、等)

安倍は次々と新エセ商売を打ち出す。。

過労死はなぜ絶えないか？

- 「働き方改革」の欺瞞を暴く

アベノミクスの破綻がますます明らかになっているが、安倍は「一億総活躍社会」の目玉として「働き方改革」なる新エセ商売を打ち出し労働者・働く者の幻想を繋ぎ止めようとしている。こうした中、10月には電通の過労自殺事件の労災認定がなされ、また再稼働を目指す関電高浜原発の課長の過労自殺も報道された。電通の高橋さんは1ヶ月に105時間もの残業を強いられ（140時間に及ぶ場合も社内には普通にあるともいう）、また関電の課長は200時間にも及ぶ残業であったという。

安倍の「働き方改革」は長時間労働の是正、同一労働同一賃金の実現、定年の延長等の高齢者の就労促進などを課題とするといわれている。しかし、これらの掛け声は春闘に向けた昨年以来の賃上げアドバルーンと同じような大ボラのたぐいではないのか？ 同一労働同一賃金については昨年民主党（当時）らの案を修正した推進法を可決・公布したが、その中では「業務の内容、責任の程度、その他の事情に応じた均等待遇」などと「責任の程度やその他の事情」なども含め既に骨抜きの大穴を設けている。また、長時間労働の是正についても、無際限の残業を可能とするいわゆる「残業代ゼロ法案」を昨年閣議決定し法案の成立を狙っているのである。労働者・働く者は安倍の大ボラを決して信用することはできないのだ。

働く者にとって最も切実なこれらの問題を徹底的に議論し、安倍との闘いの道を模索していきたいと思います。働く仲間の皆さん、是非セミナーに参加し、大いに議論し共に闘いを構築して行きましょう。



※地図上の駐車場が100円/1時間で安いです。